



茨木市「認知症対策」

の居宅や、八幡掘り周辺の石垣や土蔵群などが保存されています。

認知症対策の取り組み
(大阪府茨木市)

平成20年度より茨木市医師会高齢者対策委員会で、認知症地域医療ネットワークづくりに取り組み、市の保健福祉担当課や地域包括支援センター、ケアマネージャーなど在宅医療を支える関係機関が集まりました。患者の生活環境を熟知している認知症が専門ではない「かかりつけ医」の正確な認知症の診断や治療が求められることから、医師会では認知症診断・治療サポートシステムを活用したモデル事業を行いました。事業終了後も、市職員は医師会との情報共有を図り、昨年認知症高齢者地域支援連絡会議を立ち

尾張一宮駅前ビルの中に今年1月に開館、他に子育て市民活動・ビジネスなどの各支援センターや観光案内所などの公共施設があり、交流・文化拠点として、都市機能と集客機能を強化したものです。

市立中央図書館
(愛知県一宮市)

尾張一宮駅前ビルの中に今年1月に開館、他に子育て市民活動・ビジネスなどの各支援センターや観光案内所などの公共施設があり、交流・文化拠点として、都市機能と集客機能を強化したものです。



一宮市「雑誌スポンサーのついた雑誌」

上げ歯科医師会・薬剤師会、保健所、ケアマネージャーなど多くの関係機関との連携に努めています。

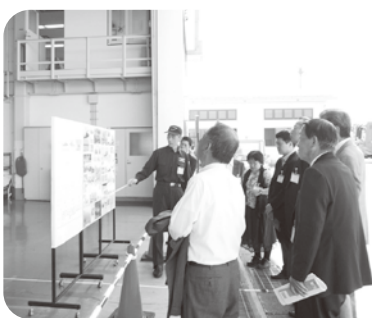
国宝姫路城
(兵庫県姫路市)

経済建設委員会
平成25年10月2日～4日
信州まつもと空港利用状況について
(長野県松本市)

信州まつもと空港は、松本市と塩尻市にまたがる地方管理(県営)空港です。平成6年から平成25年8月までの、利用状況の推移について説明をつけ、施設を見学しました。平成24年の福岡線は、3万7千840人(69.2%)、札幌線は、3万8千472人(69.9%)、就航率は98.4%です。利用状況は、65%位を目標にしていますが長野県の空の玄関口として、利用者の増加、就航率向上、経済や観光の活性化のため行政の積極的対応が求められます。

木質バイオマスエネルギー利用等について
(北海道上川郡下川町)

下川町は人口3千593人、面積664・2km²(当市の2.2倍)森林面積569・8km²と町の面積の約90%を占めています。木質原料製造施設では、林地残材、林道支障木でバイオマス燃料を1時間に2.5t、1日15.9tを製造しています。町役場周辺の地域熱供給システムのバイオマスボイラーは、発電量1千200kwで4箇所の施設が、24時間全自動運転しています。また一の橋地区集落再生では、熱のシェアに取り組んでいます。地域活性に向けて、平成25年にコレクティブハウスA、Bに30戸があり、郵便局等も併設され、バイオマスボイラー2基で、熱を供給しています。町は森林資源を有効に活用していることで全国でも有名です。ボイラーを利用した熱の活用で年間1千600万円のコスト削減等で町ぐるみで、子育て支援等に使ってい



松本市「信州まつもとと空港」



下川町「町有林を現地視察」